

産業経済局

- 一般会計要求総額
85,750百万円
対前年度 ▲7.8%
※中小企業融資を除く
対前年度 +1.6%
- 特別会計要求総額
117,712百万円
(対前年度 +3.5%)

《要求の基本的考え方》

産業経済局では、以下の3つの柱に基づき、地域企業が元気に活動し続ける環境の整備と、本市経済の新たな成長に向けた施策の推進に重点的に取組みます。

- 1 国内の景気回復を取り込み、本市経済の好循環を生み出す
- 2 新成長戦略の目標である新たな雇用創出に弾みをつける
- 3 地元の声をよく聞き、中小企業や商店街など地元企業支援にしっかりと取組む

新成長 : 新成長戦略関連予算 **新** : 新規事業

1 国内の景気回復を取り込み、本市経済の好循環を生み出す

新成長・新	○健康・生活産業振興事業……………	10百万円【サービス産業政策課】
新成長・新	○ロボット産業振興プラン推進事業……………	46百万円【新産業振興課】
新成長・新	○次世代自動車産業拠点化事業……………	18百万円【企業立地支援課】
新成長・新	○MICE事業推進強化事業……………	38百万円【観光・コンベンション課】
新成長	○「知的好奇心の旅」誘致促進事業……………	13百万円【にぎわい推進課】

◆健康・生活産業振興事業

健康・介護、女性・若者、子育て・教育等の健康・生活関連サービス産業分野の座学や視察、会員企業同士のビジネスマッチングを通し、高齢社会に対応した新たなビジネスモデルを構築することで、雇用の創出とサービスの向上を図る。

2 新成長戦略の目標である新たな雇用創出に弾みをつける

新成長・新	○「北九州若者ジョブステーション」マッチング事業……………	40百万円【雇用政策課】
新成長	○若年者雇用創造チャレンジ！！事業……………	59百万円【雇用政策課】
新成長・新	○サービス産業集積促進事業……………	7百万円【サービス産業政策課】
新成長	○6次産業化推進事業……………	52百万円【6次産業・地産地消課】

◆「北九州若者ジョブステーション」マッチング事業

既卒3年以内の未就職者及び若年求職者を対象に、市の若者ワークプラザ北九州と国のハローワークが連携した「北九州若者ジョブステーション」の事業として、地元企業での「職場実習（OJT）」を核にした支援プログラムを実施して、地元企業への就職に結びつける。

3 地元の声をよく聞き、中小企業や商店街など地元企業支援にしっかりと取組む

新成長・新	○出張商店街！商店街おすすめ自慢の逸品フェア事業……………	18百万円【商業振興課】
新成長	○中小企業融資……………	65,400百万円【中小企業振興課】
新成長・新	○（仮称）北九州ベンチャーサミット事業……………	3百万円【中小企業振興課】
新成長・新	○北九州食品発掘・拡販サポート事業……………	5百万円【国際ビジネス振興課】

☆消費税に関する相談窓口の設置【中小企業振興課・商業振興課】

◆出張商店街！商店街おすすめ自慢の逸品フェア事業

市内の商店街組合に加入している店舗を対象に、隠れた逸品を一同に集めた展示即売会を開催することにより、商店街やその中の魅力ある店舗や商品の情報発信を行い、商店街のにぎわい創出につなげる。